

平成23年第2回豊能町地域公共交通会議議事概要

日 時：平成23年9月27日（火）午後2時35分から午後4時10分まで

場 所：豊能町立 豊悠プラザ 豊悠ホール

出席者：委員13名・事務局3名（ほか説明者1名）

（詳細は別紙「平成23年第2回豊能町地域公共交通会議出席者表」のとおり）

傍聴者：10名

【1】開会

- ・午後2時35分に会長が開会し、過半数の委員出席による開催を確認した
- ・傍聴を承認した
- ・豊能町長より挨拶があった

【2】委員及び出席者紹介

- ・事務局より委員及び出席者の紹介があった

【3】職務代理者の指名

- ・職務代理者として乾委員（豊能町総務部長）を指名した

【4】《議題1》市町村運営有償運送（福祉輸送）登録更新協議について 改正について

- ・以下の事項について説明者より説明があった

- ①事業の目的・概要
- ②利用対象者
- ③運行車両
- ④運行内容
- ⑤運行実績

- ・主な質疑、意見

[委員]利用者はバスやタクシーを利用できない人ということであり、この輸送が必要不可欠な人に利用されている。事業の必要性があると思われる。

[委員]対価はおおむねタクシー運賃の1/2の設定だが、30分も乗ると運賃は高くなり、町の負担が増える。事業の持続性ということを考えると、利用料金200円は安いのではないか。今後慎重に検討すべき。

(事務局) 今回の更新では 200 円としたい。ただ、次の更新までに検討しなければならないと考えている。

[委員] 運転者が高齢。適性検査は問題ないようだが、健康診断は行なっているか。民間事業では年に 1 回以上健康診断を行っている。

(事務局) 現在、健康管理は自主的なものとし、義務付けはしていない。しかし安全を預かる事業であるので、今後検討していきたい。

[委員] 運行の範囲が「30 分以内」となっているが、町内、川西等の町外で 30 分を超えることはないか

(事務局) 交通事情にもよるが、「概ね」の範囲としている。

- ・市町村運営有償運送（福祉輸送）の必要性、運送の範囲及び対価について全員異議なしにより合意した

【5】《報告1》『豊能町地域公共交通社会実験運行』 運行実績について

- ・以下の事項について事務局より報告事項の説明があった

①社会実験運行の概要

②社会実験運行の実績（平成 23 年 7 月～8 月）

- ・主な質疑、意見

[委員] 1 便平均 4 人弱だが、感覚的に常にこのぐらい乗っている状況か

(事務局) 特定の便で 4 人以上乗っているのを見かけることはあるものの、全体的に常に 4 人乗っているとは言えない。箕面森町利用者以外が 1 便平均 2.7 人であり、それ以下と思われる。

[委員] (阪急バス) 2 ヶ月の実績ではあるが、「バス運行」の規模にしては少ない

(事務局) タクシー会社によると、登録者が予想よりも少ない、利用者が固定化しつつあるということである。利用者が少ないので、登録や予約方法などへのご意見を踏まえ、今後の利用促進を考えたいということである。

【6】《報告2》『豊能町地域公共交通社会実験運行 評価方法書』（見直し基準）について

- ・以下の事項について事務局より報告事項の説明があった

①分科会における評価方法書策定の背景・概要

②評価方法書の内容

- ・主な質疑、意見

なし

【7】《報告3》 阪急バス豊能町内路線の再編と社会実験への影響について

- ・以下の事項について事務局より説明があった

①阪急バス豊能町内路線の再編について

②社会実験への影響について

③分科会における社会実験計画の変更、路線バス補助の交通計画における位置付けの検討について

- ・主な質疑、意見

[委員]実施時期は

[委員] (阪急バス) 実施時期は他市町との調整もあるので11月終わりか12月となる見込み。少なくとも年内に実施したい。採算の悪化、町の付帯決議等による西地区空白地帯の検討、箕面森町乗り入れという検討からこのようになった。ただ、このようにしても赤字が見込まれ、又箕面森町乗り入れのために新車投入が必要ということで町に補助を要請している。

[委員]運行の詳細は

[委員] (阪急バス) ある程度の素案はできている。町と協議しているところである。

[委員]利用者動向は苦しい状況だが、再編によって効率化は図れるのか。

[委員] (阪急バス) 減便等による効率化と赤字幅の圧縮を図る。利用者減少は続いており、豊能や能勢の営業所は子会社化で人件費の圧縮をしてきたが、赤字は拡大しており、赤字圧縮を主眼とした計画となっている。

[委員]営業情報の公開は難しいだろうが、できる限りデータをいただけるよう便宜を図っていただきたい。

[委員] (阪急バス) 了解した。ただ、資料の取り扱いには注意してほしい。

[委員]社会実験の背景として大きな変更であり、人の動きが変わる。これを踏まえて地域の移動の確保、セーフティネットなどがどうあるべきかを考える必要がある。分科会で社会実験運行、スケジュール、路線バス補助の交通計画への位置付けを慎重に議論し、検討したい。検討した上で地域公共交通会議に諮ることとする。

【8】 その他

[委員] (タクシー協会) 委員に京都タクシーが入っておらず、具体的な話が難しい。協会内で調整して京都タクシーに参画してもらうよう検討したい。

【9】 閉会

- ・総務部長より挨拶及び再任の依頼があった
- ・午後4時10分に会長が閉会した